

授業科目	公衆衛生学	担当講師	非常勤講師
開講年次	3年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	社会における保健活動や衛生教育について学び、保健行政の仕組みと役割について理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「公衆衛生」医学書院 系統看護学講座「看護関係法令」医学書院 「国民衛生の動向」一般財団法人厚生労働統計協会		
評価方法	試験により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 健康と公衆衛生	2	1 公衆衛生の領域、活動の特徴 2 プライマリヘルスケア 3 ヘルスプロモーションの展開 4 世界保健機関（WHO）加盟国の役割 5 健康と環境要因（生態学的、物理化学的、社会的、身体的、精神心理的） 6 疫学的方法による健康理解（健康被害と母集団、疫学的因果関係の推定）	
2. 健康指標と予防	4	1 国勢調査、人口静態、人口動態、出生、死亡・死因、死産、周産期死亡、乳児死亡 2 平均余命、平均寿命、健康寿命 3 有病率・罹患率 4 感染症の成立要因、流行現象 5 感染症予防の基本 6 感染症の予防に対する医療に関する法律（感染症新法）、予防接種法、結核予防法 7 HIV感染症、AIDSと性感染症	
3. 生活環境の保全	2	1 地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨 2 水の安全性、大気汚染、ダイオキシン 3 食品の安全、衛生管理制度、家庭用品の安全対策 4 一般廃棄物と産業廃棄物 5 住環境 1) バリアフリー 2) シックハウス症候群	
4. 保健活動	6	1 地域保健 1) 地域保健法 2) 健康日本21 3) 健康増進法 4) 市町村保健センター 5) 保健所	

	1	<p>2 母子保健</p> <p>1) 母子保健法</p> <p>2) 健やか親子21</p> <p>3 学校保健</p> <p>1) 学校保健安全法</p> <p>2) 感染予防</p> <p>3) 学校環境衛生</p> <p>4 老人保健</p> <p>1) 老人保健法</p> <p>2) 保健事業</p> <p>5 精神保健</p> <p>1) 精神保健法</p> <p>2) 精神保健福祉センター</p> <p>6 生活習慣病予防</p> <p>1) 生活習慣病の現状</p> <p>2) 栄養運動休息</p> <p>3) 喫煙飲酒</p> <p>4) がん予防</p> <p>5) 健康教育と早期発見</p> <p>7 難病対策</p> <p>8 産業保健</p> <p>1) 健康管理・職業病の予防</p> <p>2) トータルヘルスプロモーション</p> <p>試験</p>	
--	---	---	--